

「廻国雑記」道興准后

かいこくざつき

どうこうじゅんこう

【はじめに】江戸時代の武蔵国を知るのに都合よい本で「新編武蔵風土記稿」があります。その巻之二百四十三 賀美郡一の項に「神流川 郡西武上の国界を流る。『廻国雑記』に、上野より武蔵へ越給ふ時と云つづきに、髪長川など名所名所と云、『川越記』には賀美の川とあり、其文に賀美郡と云る二十余郡の北の果にて、彼郡より流出るをかみの川と云て、末は利根にたぎり落て、是なん武蔵国とかみつけの界川なり云々」とあります。

神流川のことは「廻国雑記」に髪長川、「川越記」には賀美の川と書いてあるというわけです。では、これらの古い書物を見るのはどうしたらいいのでしょうか。そんなときに、「群書類従」が頼りになるのです。「廻国雑記」は群書類従巻第三百三十七・紀行部にあり、「川越記」は巻第三百八十五・合戦部にあります。

【作者】道興准后（どうこうじゅんこう）  
○一は、京都聖護院門跡や熊野三山検校職などをつとめた人で、五摂家の近衛家の出身です。父親の房嗣、弟の政家は関白となり、直系の末裔には近衛文麿などがいます。

当時本山派修験では東北・関東を聖護院を本所とする組織に結集しようとする動きが高まっていた時で、埼玉県内の修験道は、この道興准后の来遊をうけ、本山派修験の枠に組み入れられることが多くなつたそうです。

江戸時代になると修験道は本山派（聖護院派）と当山派（醍醐三本院派）の二大門派に吸収されますが、江戸末期の埼玉県内は本山修験二四一ヶ寺、当山修験一四八ヶ寺、羽黒修験三九ヶ寺の総計四二八ヶ寺だったそうです。

【内容】その内容は、道興が文明十八年（一四八六）六月から約十か月間、北陸路から関東へ入って武蔵国ほか関東各地をめぐる、駿河甲斐から、奥州松島まで足をのびた旅の紀行文です。銀閣寺で知られる足利義政の跡

を継いだ足利義尚が將軍となつていた頃のこと、鎌倉では関東管領上杉一族で山内（顕定）と扇谷（定正）が対立した、まさに戦乱の世でした。



【本文】この地域に関わる本文の一部を紹介します。

「この坊を立て、宮の市、せしもの原、しほ川、しろいし、いたづら野、あひ川、かみ長川などさまさまの名所を行々て、おしまの原といへる所に休みてよめる、

今日爰におしまが原を来てとへばわか松しまは程そ遙けき武蔵野にて残月をながめて、山遠し有明のこるひろ野かなおなじ野をわけくれてよめる、草の原分もつくさぬむさしののけふの限りはゆふへなりけり」北陸路から上野国を経て武蔵国へ入った時の記録です。

【おしまの原】この「おしまの原」は本庄市小島だとされています。道興は河岸段丘から利根川やその中洲を眺めながら、まだ見ぬ奥州松島を連想したのででしょうか。



本庄台地から望む利根川や赤城山は、いろいろな人々に様々な場所を思い出させたようです。鹿兒島出身の埼玉県三代県令で初代埼玉県知事吉田清英は「然して本庄台地の北端上り赤城山を眺望せんか、雲なびけば恰も郷里に於て桜島を觀る如き感想の下に、明治廿三年一月十一日日本庄町百七



十八番地に邸宅を築き、北足立郡浦和町百十番地より新邸宅に移る。」（「故吉田清英翁御経歴を偲ぶの記」宮城平五郎）

道興は松島湾、吉田清英は錦江湾（鹿兒島湾）に見立てたようです。

第6回塙保己一賞表彰式・記念コンサートにご来場を

郷土が生んだ偉人「塙保己一」のように、障害がありながらも不屈の努力を続け社会的に顕著な活躍をしている方や障害者を献身的に支援している方を表彰する「第6回塙保己一賞表彰式」を下記のとおり開催します。入場無料です。

ぜひご来場ください。（埼玉県主催・本庄市共催）

日時 12月15日（土）午後1時～ 会場 セルディ ホール



昨年の授賞式の様子

受賞者の方々（主な受賞理由）

大賞：石川 准さん(55歳)  
点字受験により全盲で初めて東京大学に入学、現在、静岡県立大学教授。障害学会初代会長。評価の高い視覚障害者支援技術を開発。

奨励賞：加藤裕司さん(33歳)  
2004年アテネパラリンピック柔道銀メダル、2007年国際視覚障害者スポーツ協会サンパウロ大会優勝。現在、盲学校教諭。

貢献賞：宮城武久さん(68歳)  
つばき教育研究所を設立し、視覚障害、知的障害、肢体不自由などの障害のある子供に対し、一人一人の発達に応じた教育を実施。

貢献賞：(福)東京ヘレン・ケラー協会  
視覚障害者のため、多くの鍼灸按摩マッサージ師を養成して社会参加・自立に貢献したほか、情報提供やJソールも開催。

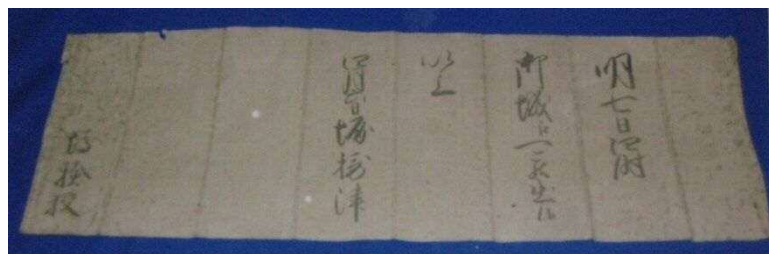


今回の公演は、テノール歌手 新垣 勉さんです。

新垣さんは沖縄県出身。出生後まもなく不慮の事故で全盲となる。その後、14歳で祖母と死別し、天涯孤独となる。ある牧師との出会いによって人生に希望を得て努力、音楽への思いを貫く。教会の牧師でもある。SMAPの大ヒット曲『世界に一つだけの花』の一節である「ナンバーワンにならなくてもいい もともと特別なオンリーワン」は、元来は新垣氏が語り続けてきた言葉に由来する。また、その生涯は、2007年にフジテレビで小池徹平主演でドラマ放映された。

本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

四月六日付け 江戸幕府から塙検校宛のお召状（年不詳であるが文化十二年と推定されている。）



この書状は、保己一が事前に將軍家へのお目見えを願い上げて認められ將軍に拝謁しましたが、その時の拝謁許可を申渡す件で登城を命じられたものです。差出人は幕府若年寄 堀田撰津守です。日付を見ると突然の呼出しのようですが、実はその年の正月晦日に長文の願文を林大学頭に宛て差出していました。「願之趣御内慮奉伺候覚」として「和学講談所御用留」に載せられているところによると、「史料も追々出来仕」と述べ、幕府の「御用」として和学講談所や史料取立の仕事継続してきたこと、検校として「十老」の地位に達しており、総検校になってからのお目見えではなく、国学者としての拝謁を仰せつけられれば、他の国学を心掛ける人々への励みにもなるとの考えも読み取ることが出来ます。実際、二十八日には將軍へのお目見えが実現しています。

ときに、塙保己一は七十歳。

（上記 文言の解説…）

（右写真の文言）  
明七日四時  
御城江可罷出候  
以上  
四月六日堀攝津  
塙検校

明日、七日の四時に お城へまかり出（＝登城し）なさい 以上 四月六日 堀（田）攝津（の守）より 塙検校へ



# 塙保己一先生の遺徳啓発活動報告



## 埼玉サイクリングフェスティバル

10月14日(日) つきみ荘

一熊谷を出発して折り返し地点は本庄ー 往復 65kmの道のりを自転車アスリートが秋風の中駆け抜けました。埼玉県主催の本大会では、総勢 726 人の参加者が本庄市つきみ荘の中継・休憩地点に到着…



さわやかな一日となりました。

…吉田会長(市長)や上田知事、竹並県議も自転車に乗って到着しました。顕彰会では、この会場で本庄市の偉人として保己一先生をPRし、多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。



## ふれ愛祭 10月28日(日) シルドームにて

障害児・者の皆さんが日頃の成果を発表、交流する場『ふれ愛祭』(本庄市ふれ愛祭実行委員会主催)が開かれました。当日は、一時、雨が強く降るなか、多くの市民が訪れました。顕彰会では、塙先生の小型銅像や群書類従の版木を展示して、来場者に説明しました。

## 顕彰会へのご寄附ありがとうございます。

10月12日、ふるさと本庄歌謡祭実行委員会様より歌謡祭開催時の収益金・寄付金の合計 102,478 円が顕彰会へ寄附されました。今回の寄附は、塙先生の銅像建立に役立たせていただくことになりました。ありがとうございました。

## 顕彰会の会員を募集しています

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、塙保己一先生の遺徳を顕彰し、幅広い啓発活動を行っています。まだ継続手続きをされていない方は会費の納入をお早めにお願いたします。

### 年会費

個人会員 一口 千円、賛助会員(団体) 一口 一万円  
入会と会費納入の受付場所

本庄市生涯学習課(中央公民館)と本庄市児玉文化会館(セルディ)で受け付けています。本庄市役所4階文化財保護課では、平日にお預かりします。

※郵便振替でも申し込みできます(ご希望の際には、下記へご連絡ください)。



### 発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館(セルディ)内  
所在地 367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2  
電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成いただきました。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

## 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第15号 平成24年12月発行



♪ わわわ わわわ わわわ わわわ わわわ わわわ わわわ わわわ わわわ わわわ  
…と有名な『わんごまひ畑』の歌唱など知られる  
新垣勉氏が、今回の塙保己一賞の記念公演者です。  
ぜひご来場ください。(詳細は、次頁にあります。)

### ごあいさつ

短い秋が過ぎ、日々、寒さ深まる季節となりましたが、会員のみなさまにはご健勝でいらっしやることと拝察いたします。

みなさまのおかげをもちまして、過日、塙先生の墓所移転が完了いたしました。9月12日には、完成した新墓所にて竣工式を、そしてセルディでは顕彰祭を開催いたしました。竣工式では、顕彰会役員、来賓、市議会議員やご近所の方々が見守るなか、地域の神主・住職によりおごそかに式が挙行されました。これも、関係者の方々、そして会員のみなさまのご協力によるものと深く感謝いたしております。

また、来る12月15日には、埼玉県主催の塙保己一賞がセルディにて開催されます。会員のみなさまには、ぜひご来場くださるようご案内申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会  
会長 吉田 信 解